

## 第 8 次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	教育用コンピュータ導入事業（小中学校）
-----	---------------------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等			
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	
実施（補助）期間	自 H4	～ 至	継続

担当部	教育委員会	担当課	学校教育課
担当係	学務係	内線	5121 課 65020
関係課			

総合計画			
基本計画	章名	第1章 明日を担う人づくりとコミュニティを中心とした地域づくり	
	節名	第1節 明日を担う人づくり	
	細節名	第3 次代を担う子どもたちを育む義務教育の充実	
	施策名	教育環境の整備	該当ページ 58ページ
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン			
事業区分	新規	継続	施策 11-03-06

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	事業内容	平成19年度				備考	注意事項
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
児童・生徒一人1台の教育用コンピュータ体制の達成により、学習効果の向上と授業運営の円滑化を図る。	・教育用コンピュータの整備・更新・LAN整備 中学校 = 佐治・青谷 上記以外 = 継続	・教育用コンピュータの整備・更新・LAN整備 小学校 = 河原第一・西郷・散岐・鹿野 中学校 = 福部・河原 上記以外 = 継続	・教育用コンピュータの整備・更新・LAN整備 小学校 = 稲葉山・賀露・末恒・浜坂・岩倉・国府東・宝木 上記以外 = 継続	・教育用コンピュータの整備・更新・LAN整備 小学校 = 久松・城北・美保・倉田・神戸・世紀・用瀬 上記以外 = 継続		<p><b>（注1）</b> 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング（見直し）する中で変更していくことがあります。</p> <p><b>（注2）</b> 事業費（財源内訳）は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。</p>	
事業の概要	小中学校の教育用コンピュータの整備・更新・保守管理、消耗品・ソフトウェア等の購入						
事業の対象者（交付先）	小学校児童 中学校生徒						
事業費（百万円）	H19決算額	H20予算額	H21予算要求 予定額	H22予算要求 予定額	H20～H22合計		
百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	204	161	170	153	484		
財源内訳（ソフト）	一般財源	204	161	170	153		484
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債（ ）						
	その他（ ）						
目標値	活動の指標（アウトプット）	導入小中学校数（小学校・中学校）/小中学校数 児童生徒数（小学校・中学校） 更新台数（小学校・中学校）	62校/62校（44校・18校） 16,376人（10,765人・5,611人）	62校/62校（44校・18校） 約17,000人 196台（118台・78台）	62校/62校（44校・18校） 約17,000人 264台（264台・0台）	62校/62校（44校・18校） 約17,000人 239台（239台・0台）	
	効果（アウトカム）	小学校導入済台数（累計） 中学校導入済台数（累計） 小学校整備率 中学校整備率	1,482台 788台	100% 100%	100% 100%	100% 100%	
	特記事項		小学校は44校で45校舎	小学校は44校で45校舎	小学校は44校で45校舎		